

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区！
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、おやじの会
 一葉会、すずの会、青少年指導員ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから6年目、子どもたちの思いに応えて「あいさつの輪」、
 「さりげないお節介の輪」の拡がりを通じて心と心の“絆”づくりを皆さんの手で！

心と心の絆

西野川小学校 教頭 濱田由起夫

「おはようございます」、朝の校門に元気な声が響きます。この一言に、元気を出す力、気持ちを明るくする力などさまざまな力が込められています。その中で、人と人を結ぶ力は素晴らしいものです。毎週火曜日、西野川小学校の校門に、子ども、保護者、地域の方々、先生がひとつになってあいさつを交わすことは、この地域の絆を深める大きな力となっていることでしょう。顔見知りの人たちだけではなく、初対面の人からかけられるあいさつは、心を和ませ、つながりを生むきっかけとなります。あいさつは人の心と心の絆をより深めてくれる素晴らしいものです。西野川小学校に通う子ども達、一人ひとりがそのことを感じ、日常生活の中で、野川の町の中で、「こんにちは」、「ありがとう」、「さようなら」など、地域の方々とあいさつを交わす機会がさらに増えたら、どんなに心温まる町になっていくことでしょう。これからも、西野川小学校の子ども達と一緒に「あいさつうんどう」を大切にしていきたいと思います。

とそれにこたえる全職員の「おはようございます」で着席し、打合せが始まります。あいさつを交わせば、さあ、やるぞ！という気持ちになり、同時に仲間のその日の気分や体調等がわかります。これも一体感や安心感を生んでいるのかもしれませんが。そんな安心感を保護者の方や児童・生徒の皆さんには毎朝、家庭の中で「おはよう いただきます ごちそうさまでした 行ってきます」から感じて頂きたいと願っています。



西野川小学校の朝のあいさつ運動

あいさつから生まれる安心感

野川中学校 教頭 高城 英一

山登りを趣味にしている方から聞いた話です。登山者の少ない登山では「こんにちは」のあいさつに、「私は怪しい者ではありません」という意味も含まれていると聞いたことがあります。確かに何時間も人に会わず歩いて、突然人が出てきたらびっくりするのでしょう。そんな時、お互いがあいさつをすれば安心できるのもわかります。

さて、野川中学校の一日は、朝8時15分、全員が起立して校長先生の「おはようございます」



あいさつ運動に参加して！

6月から西野川小学校で行われている朝のあいさつ運動に参加するようになりました。登校してくる子ども達に「おはようございます」と明るく声を掛けるのは、すがすがしく、気持ちの良いものです。子ども達も大きな声であいさつを返してくれますし、中には子どもから声をかけてもらうこともあります。

普段家の近くで会った時などに自然とあいさつをする子どもが多いのも、なるほどこのような運動が地域に行き渡っているからだなど、感心させられることも多いです。

思えばわが家の娘が小学生の頃始まったあいさつ運動。校門で声を掛けてくださる方々に、たくさん励まされたことでしょう。今度は私が地域の大人として、恩返しできる番になりました。これは大変貴重な経験です。野川の子ども達、地域、そして自分自身のために、これからもあいさつ運動を続けて行きたいと思います。

(西野川小学校PTA OB)



あいさつの飛び交う街に犯罪なし!

—— ところをつなぐ不思議な力 ——



あいさつは、不思議な力を持っています。即効薬ではありませんが、①こどもの健やかな成長、②地域全体での子育て、③犯罪や非行の抑止、④思いやりや支え合いの風土づくり・コミュニティ形成につながっています。今回はパトロールを通じた犯罪や非行の未然防止について取り上げてみました。

●夏季夜間防犯パトロールの開始!

野川台自治会は、地域の防犯力を高めるため、昼間の「あいさつ兼防犯パトロール」に加えて、この7月から、8月にかけて3回、夜間に公園やコンビニ周辺のパトロールを実施するなど、区内のモデルになるような安全で安心な街づくりを目指しています。

もちろんパトロールの基本は、パトロールの姿を見せたり、あいさつや声かけをすることにより犯罪などを寄せ付けないうことにあります。それらを通じて「地域のこどもは、地域全体で守り育てる」ことをモットーとして臨んでいます。時には地域外の子どもや大人も利用していますが…。

●誰もが安心できる公園をめざして

団地内公園を綺麗にご利用いただきまして、皆様のご協力に感謝申し上げます。最近、ほんの一部の不心得者によるフェンスの破損、ゴミの放置などの行為が目につくようになってきています。特に夜のあずま屋周辺のたむろなどは、通りすがりの人や付近住民の不安を募らせている状況にあります。そうした中で、自治会は、各公園管理運営協議会と協力して、あずま屋に接する道路に防犯灯を設置するとともに、夜9時から自治会有志7～8名による団地内の第一、第二、第三、第四、及びふれあいの各公園を見回り、利用者へのさりげない声かけや不審者がいないか目を光らせながら、犯罪の未然防止に努めています。またパトロールを効果的にするよう区役所の協力を得て昇り旗「防犯パトロール実施中」を団地内6か所に掲げて注意を喚起しています。

なお9月以降も、夜間防犯パトロールを計画しています。皆さんの参加をお待ちしています。



昼間のパトロール隊



夜間のパトロール隊



野川中学校の朝のあいさつ運動

思いやりといじめ!

夏休みは、野川第4公園の「朝のラジオ体操」から始まります。子ども部の幹事さんの話によりますと、今年はいつになく親子連が多いとか…。

体操の行き帰りに、子どもたちから「おはようございます」の声に、「朝から元気をもらったみたいで、嬉しいね!」との父母の声も多く聞かれました。

昨今、こどものいじめが、取り上げられています。

「いじめを助長しているのは、我々、大人の精神風土にある。もっと子どもの鏡になるべき…」という声もあります。もう少し突き詰めれば、そうした要因のひとつに子どもも、大人も、地域もコミュニケーションが足りないことが挙げられるのではないのでしょうか!。

私たち自治会が進めています「あいさつ運動」はひとつにはコミュニケーション力の醸成にもあります。

地味ですが、日々子ども、隣近所、地域の人同士があいさつを交わすようになれば、自然に気遣ったり、笑顔でそれとなく注意したり、思いやったりする心の通った間柄になると受け止めています。(事務局)

子どもたちの標語づくり — 全員投票! —

5、6年生がメンバーの西野川小学校「運営委員会」が、一年生から六年生までの各クラスにあいさつの標語を募集。そして集まったクラス代表の15の作品の標語を校内の掲示板に貼り、今年はその中から「地域に広めるのにふさわしい標語」を各クラス毎に、一人2つ選んで投票してもらうことになりました。今年はい全児童の投票を集計する新しい方式に挑戦!

あるクラスでは、クラスの投票結果を見て「やっぱりね!」とか、「あっちの標語の方がずーと魅力的だね!」などと色々な声が聞かれました。みんなは、学校全体の声が、どんな順になるのか興味深々の様子で、楽しみにしていることが伺えました。地域も素晴らしい試みをしっかり受け止めたいですね。(事務局)



あいさつのあふれるすてきな街づくり



—— あいさつで一日を笑顔に ——

コミュニケーションのきっかけ

野川小学校 教頭 笹田美知子

4 月に野川小学校に赴任して、朝の校門は元気なあいさつの声であふれていることに驚きました。校長先生と用務員さんをはじめ、野川ふれあい委員会、担当クラスの子も達と担任・保護者の方、時には地域の方も参加して下さって、一日の始まりをみんなで気持ちよくしています。中には、笑顔いっぱいでおはようございますと言ってくれる子・ハイタッチをしてくれる子…。元気で楽しくなるエネルギーをさらにもらって、何か会話をしたくなります。

挨拶とは、一挨拶（いちあい いちさつ）から来ていて、問答（言葉のやり取り）を表しているそうです。心のノブは内側にしかついていない。他人が開けることはできないと言います。でも挨拶の力でこのノブは開かれるのではないのでしょうか。コミュニケーションのきっかけをつくる魔法の力をもつ挨拶で、素敵な一日・素敵な学校になるように、朝のあいさつ運動を続けていきたいと思います。



野川小学校の毎朝のあいさつ運動！

あいさつで一日を笑顔に！

野川中学校 2 年生 生徒会役員 川村百合奈

毎週月曜日の朝、8 時から 8 時 10 分まで行うあいさつ運動の参加者が、この一年で驚くほど増えました。最初は生徒会本部と一部の生徒だけで行っていたのが、今では正門を通るとこっちがびっくりしてしまいそうな人数です。大きな声であいさつするのが苦手な人も、沢山の人から明るいあいさつをもらうとなんだか笑顔になっていきます。そんな姿を見て、私たちも少しだけ嬉しくなるのです。朝のあいさつは、その一日がただ眠い日になるか、いつもより少しだけ楽しい日になるかがかかっていると思います。そんなあいさつを届けられる、また受け取れる月曜日の朝が、私は大好きです。ぜひ、あいさつ運動に参加してみてください。

あいさつは きもちいいな！

西野川小学校 2 年生

あいさつをしたらえがおでかえてくれてうれしかったです。だからつぎは、ほくたちもあいさつうんどうをしてくれている人たちにげんきなえがおをかえてあげたいと思います。（大貫 怜）

あいさつをするとじぶんの心もおちつくし、あいての心もいい気持ちになります。「あいさつは心をまもるシンボルマーク」「あいさつは人と人とのキャッチボール」だと思います。（水越 望心）

あいさつをすると、いいきもちや、元気いっぱいになってとてもいいと思いました。ほくが一ばんいいと思ったのはあいさつをしてかえてくることばで元気になれることです。（山口 雅哉）



南野川小学校の朝のあいさつ運動

あいさつは いつも さわやかに つづけよう

南野川小学校 教頭 横溝 悟史

「おはようございます。」朝、登校一番子どもたちからこんな明るく元気な声が聞かれると、私も元気をもらいうれしくなって、「おはよう！今日も 1 日ががんばろう！」とごく自然に返します。反対にこちらから「おはよう！」と声をかけても「…？」と無言でうつむき加減に通り過ぎて行く子どもを見ると、「どうしたんだろう。元気ないな？」とあらぬ心配までしてしまいます。挨拶は、その時々の人々の心の現れでもあります。心が健康でうきうきしている時は自然に自分から元気よくさわやかにあいさつができるものです。また、不思議なもので、誰であれ、明るくさわやかなあいさつをされると、何故かこちらまで明るくさわやかな空気に包まれ、気持ちがほぐれ、穏やかな心でいられます。あいさつは、すべての人間生活の基本です。私もあいさつ運動に役買って、①あいさつは、②いつも、③さわやかに、④づけられるよう、心と体の健康を保っていききたいと思います。

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

“よく飛んだで賞”

“発射スタート”、今年もロケットおじさん佐藤さんの大きな声が校庭に響き渡る。瞬間時速“30キロ”、「よく飛んだで賞」を頂いたやまと君のペットボトルロケットは、校庭を横切り50メートル先の小学校の体育館の屋根に着陸！中には空高く舞い上がったもの、地



発射！

上すれすれに弾丸ライナーで飛んでいったもの、ちょっぴりしか飛ばなかったロケット等…、でもどんな飛行スタイルでも発射される毎に子どもたちの歓声…。お父さんとこどもが工作を一緒にするのは、ほとんどないとのこと、今日は、悪戦苦闘しながらも、お父さんのよいところを見せた一日でもありました。

(おやじの会の会長は、佐藤達博)

野川中学校吹奏楽部も参加した納涼祭！

8月4日、第6回目を迎えた「寿楽園納涼祭」。施設の利用者・家族そして地域の人など併せて600名近くの方が、集まり楽しみながら思い思いに絆を深



レベルの高い吹奏楽

めていました。例年の通り、テント、机、イスを近隣の小中学校から借用、野川台自治会も模擬店等のボランティアとして参加し、地域挙げての祭りになってきました。今年の特色は、舞台に初めて野川中学校吹奏楽部が参加し、馴染みのある365歩のマーチ、ありがとう、宝島等そしてアンコールに込めての千の風を演奏し、会場が一体感に包まれていました。「若いひとのパワーをもらったよ！」「すごい！レベルの高い演奏ね！」などの声が聞かれました。中学生は、地域での演奏は初めてなので最初すごく緊張していましたが、手拍子もあったりして楽しく演奏ができたと言っていました。フィナーレは、恒例の施設の若さ溢れる新人による「よさこいソーラン」で締め、盛り上がった納涼祭になりました。(寿楽園の担当は、小川、西山の各氏、中学校の顧問は白井先生)

新体操、県大会4位に輝く！

新体操は、美しさと芸術性を競うスポーツです。

今年の手具はロープで、野川中は女子団体戦に出場。川崎ブロック大会では順当に準優勝して7月下旬の県大会の出場権を得ました。県大会までの2週間、念願の関東大会へのエントリーを目指し、練習に明け暮れる日々でした。試合当日の本番は、音楽に合わせリズムカルな中にロープを空中に投げたり、体に巻きつけたり、清純で躍動感に溢れ、かつノーミスの演技を披露しました。結果は高得点を得たものの、惜しくも4位の成績で思い入れのある関東大会出場は3位以内には届かなかったのですが、その間、コーチの優しく時には厳しい指導の基、目標に向かって練習の中で培ったチームワークと友情はこれからの大きな財産となることが伺えました。

(顧問は、濱、藤田各先生)



フェアリー野川

ハンドボール部、県大会健闘！

ハンドボールの魅力は、豪快なジャンプシュートやオフェンスとディフェンスの激しい攻防など瞬時のダイナミックスさに有ると言われています。



激守猛攻の幕を背に！

野川中のハンドボール部は、近年勢いがあり、春の大会で強豪の西中原中を破って、県大会三位の実績を持っています。この7月の夏の市大会では、五位決定戦で、法政二中、有馬中を連破し、その勢いで県大会に臨みました。県大会では、横浜地区一位の中田中と対戦。前半は押し気味の試合運びでしたが、後半、刻々と変わるゲームの流れの中で逆転を許し、21：22の僅差で惜敗。部員も40名を有し、チームワークもよく、個人技も大事だがチームプレーに磨きをかけて今年の悔しさを来年に巻き返すことを誓っていることが伺えました。

(顧問は、多田、蓬田の各先生)

編集後記

あいさつ運動を始めて6年目。少しずつ浸透してきているかなと受け止めています。今回4名の教頭先生に執筆を頂き本当に有難う御座います。先生方がおっしゃる「あいさつは人の心と心の絆を深める魔法の力」を上手に活かし、思いやりと支え合う風土づくりを微力ですが、一歩一歩進めたいです。

(日高、原、辻本、後藤、鈴木)